

1.3 現在の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題があると思いますか。

ID	自由記述内容	学会	年齢	性別
8	大学間に非常勤が回ってきやすい等の格差がありすぎる	日本哲学会	30	男
27	採用の事情についてよく知らないので、答えに窮してしまいます。	日本哲学会	35	男
33	事実上の終身雇用と化している常勤職	日本哲学会	36	男
37	女性の昇格問題:教授職に占める女性教員比率の低さなど	日本哲学会	38	女
41	ホンネとタテマエの差がいろいろな面であまりにも大きいこと	日本哲学会	38	男
42	非常勤の多くがコネで回っており、公募制になっていない	日本哲学会	38	男
51	業績評価に関して、特に、他分野と哲学での質的差が考慮されない。他分野や容易に業績がつけれるが、それと同様の業績数を哲学に求められるのは問題です。	日本哲学会	42	女
77	COE等の大型予算に基づく短期的プロジェクトによって、むしろ不安定な雇用形態が増加している。	日本哲学会	52	女
85	現状の公募制度だと常勤研究者の転職のほうにシフトしてしまい、かえって若手が採用されにくい状況になっている。	日本哲学会	56	男
88	女性に関しては「肥満体型の人に限る」という暗黙の了解があるのだろうか	日本哲学会	57	男
94	哲学研究者が欲しいというより、社会の基本問題を扱えるかどうかの問題だ。本は読むが現場にでかけない人は(現場の人と話ができない人は)安全の哲学をやる人として採用しにくい。	日本哲学会	60	男